

図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）における学習のプロセス（イメージ案）

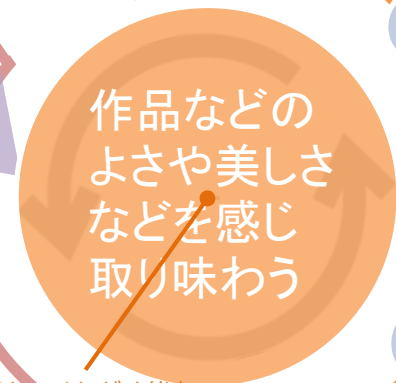
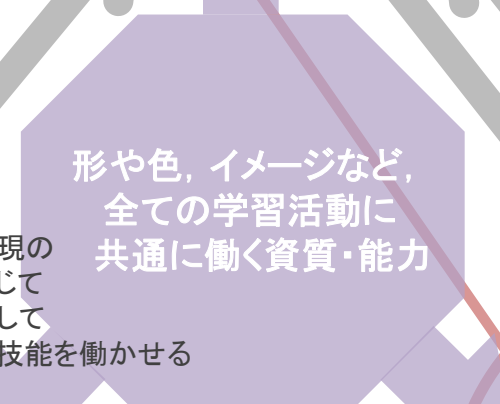
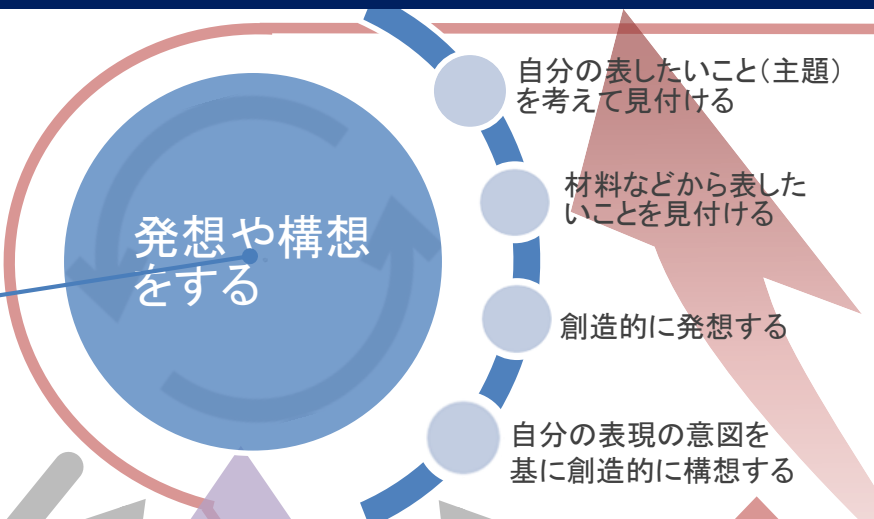
平成28年1月22日
教育課程部会
芸術ワーキンググループ
(第4回)資料1-2

形や色、材料などを操作したり
用いたりして思考・判断する

言葉を用いて思考・判断する

- ・新しいアイデアなど豊かに発想する能力
- ・発想したことをまとめる構想する能力
- ・自己の意図に応じて情報を主体的に選択して活用する能力
- ・物事を多面的に吟味して見定め創造的に課題を解決する能力

- ・造形要素の特徴や材料、用具を自己の意図に応じて活用する能力
- ・見通しをもって計画的に物事を進める能力
- ・意図に応じて新しい表現方法をつくりだすなど創造的に課題を解決する能力



- 自分の表したいこと(主題)を考えて見付ける
- 材料などから表したいことを見付ける
- 創造的に発想する
- 自分の表現の意図を基に創造的に構想する

- 言語表現
言語活動
- アイデアスケッチなどに感じたことや考えなどを整理する
 - 話したり話し合ったりする
 - 説明し合ったり価値意識をもって批評し合ったりする
 - 討論や根拠をもって批評し合う

他者への働きかけ
協働

- 自分の見方や感じ方を大切にして、作品などのよさや美しさなどを感じ取り味わう
- 生活や社会の中の造形や美術の働きと豊かに関わる
- 美術文化や工芸の伝統と文化の理解を深める

- ・よさや美しさなどを感じ取り味わい、新しい意味や価値をつくりだす能力
- ・相違や共通性、それぞれによさに気づき、多様なものの見方や考え方ができる能力
- ・生活や社会の中にある造形や美術、工芸の働きを理解し、豊かに関わる能力
- ・美術文化や工芸の伝統と文化を通して、国際理解を深める能力